

聖愛



十一月号
原町聖愛保育園
二〇〇九年十一月一日発行

朝夕冷え込むようになってきましたが、子どもたちは友だち関係も広がって、元気に遊んでいます。夕方には、空を見上げて、月や星を観察する姿も見られます。

夜の親子遠足「星を暗闇体験」の感想

★遠足お世話になりました。ランタンの灯りでの食事、星を観測、虫の声、とても印象的でした。「保育園での夜の活動は聖愛だけだね」と、家族みんなで楽しかった遠足について、興奮気味に話をしました。先生方には本当に「感謝」の一言です。ありがとうございました。K

★夜の遠足は、感性を磨くにはとても良いイベントだと思いました。暗い中で五感をフル活用できたと感じています。息子はご飯の後お菓子を食べられると思っていたので、その時間が十分にたれなかったのがこだわりとなり、集中を欠いてしまったのが残念でした。「ピスケットは？」を連呼しては、なだめること数回、少々疲れました。しかし、息子はあまり勝手に動き回ることなく終始私の周囲におり、ほとんど手を繋いで行動できました。これは、安心材料となりました。いつも感じることでありますが、聖愛の先生方は本当によく働くなあと感心したいです。S

★夜の遠足お疲れさまでした。バスの中で、夕日を見たり、暗闇でお弁当を食べたり、寝そべってじつくり星の観察をしたり、カエルがう〇ちをする姿が見れたり、と息子には何もかもが初体験でした。虫の声が息子には「コッコ、コッコ」と聞こえたらしく、みんなと違った表現にビックリでした。万全の安全に配慮していただいた先生方、ありがとうございました。短い時間でしたが、貴重な体験ができました。M

★夜空の星を子供と一緒に見ることができ、夜の真つ暗な公園をみんなで探検し、体いっぱい自然を感じることでできました。普段何気なく見過ごしていることをこんなにもたくさん見つけることができた今回の遠足、とても貴重でもっとも心に残るものとなりました。自然の雄大さを肌で感じ、子供と過ごした時間、とても楽しかったです。F

★普段では体験できないことを体験させてもらいました。夜、ねむっている虫を探したり、鳴き声を聞いたり、とても楽しかったです。娘にはまだ少し星座はむずかしかったみたいですが、毎日夜空を見て、一番明るく光っている星を見て「あれ木星だっ!!」と言って喜んでいきます。娘もそして私もとても楽しい貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。K

★他の幼稚園や保育園では学ぶことの出来ない、そして、つき組としての最後の遠足、ちよつと寒かったです。暗い所が苦手ですが、みんながいるからなのか、という感じでした。とても元気いっぱい息子が見れて、とても楽しかったです。私も久しぶりに電気がないところで、空を見上げることができ、子供の頃に帰ったよう、もう少しゆっくりしていてもよかったです。先生の手品も楽しかったです。かぐや姫のおはなしもとても良かったです。O

★遠足とても楽しかったです。初めは「夜の遠足？」とどうなるのか？なと思いましたが、すごく楽しく良い思い出になりました。ちよつと肌寒かったです。夜のお弁当もおいしかったですね!!初めての夜の遠足「サイコー!!」でした。ありがとうございました。S

★初めての夜の遠足と、息子とはじめて二人で出かけるにあたって、息子のテンションは上がりっぱなしで、暗い所が苦手ですが、みんながいるからなのか、という感じでした。とても元気いっぱい息子が見れて、とても楽しかったです。私も久しぶりに電気がないところで、空を見上げることができ、子供の頃に帰ったよう、もう少しゆっくりしていてもよかったです。先生の手品も楽しかったです。かぐや姫のおはなしもとても良かったです。O

★遠足大変お世話になりました。娘もとても楽しかったようで、いつもよりも早く寝ました。夜の野外行事ということで、子供より親の方が終始ドキドキしていましたが、先生方の常に目を配っていることには、とても心強く感じました。また、行き帰りのバスの中でも、時間が経つのが早く感じる位、楽しく過ごさせていただきました。「かぐや姫、最高でした。w

11月の保育目標 主題 0、1、2歳児「ありがとう」 3、4、5歳児「心が動く」



暗唱聖句「イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えてから、座っている人々に分け与えられた。」
ヨハネによる福音書 6章11節

	保育目標	活動	保育者の配慮
0歳児 てんし	・身の回りの物に興味を持ち、探索活動や、好きな遊びを楽しむ。	・プットイン、引っ張り遊び シールはがし、貼り(指先を意識して) ・ごっこあそび ・まてまて遊び ・散歩	・繰り返し遊ぶことのできる玩具を準備し、楽しみながら指先を使い、細かい物がつかめるように遊びを工夫する。 ・ごっこ遊びでは、月齢に合わせ人形や布などを準備し、保育者が一緒に遊び大人とのやりとりを楽しめるようにする。
1歳児 つぼみ	・保育者や友だちと一緒に遊ぶことを喜ぶ。	・散歩(木の葉探し、落ち葉で遊ぶ) ・かくれんぼ ・音に合わせて体を動かす ・スタンプ遊び ・粘土	・子どものやってみようという気持ちを大事にし、タイミングよく誘う。保育者や友だちのやっていることに興味を持てるようにする。 ・自然の恵みに感謝し、保育者自身が季節の変化に目を向け、環境を整える。
2歳児 はな	・簡単なルールを守って、友だちと一緒に遊びを楽しむ。	・表現遊び(オオカミと7匹の子ヤギごっこ) ・かくれんぼ ・どんぐり遊び ・散歩	・ゲーム性のある遊びを通して、ルールを守り、友だちと一つの遊びを共有する。 ・相手の気持ちに気付いたり、譲ったりする気持ちを持つよう促す。 ・生活面の自立に向け、一人ひとりに丁寧に関わり、自発的に見えるように援助する。
ファミリークラス 3歳児 4歳児 5歳児	・遊びで感じたこと、想像した事を表現して楽しむ。	《室内》 ・木の葉を使って製作 ※1 ・ぼかし絵 ※2 ・機織り(大小) } ※5 ・くさり編み ・マフラー作り	・体験から、想像をふくらませられるように、戸外で拾ってきた自然物を活かして製作するなど遊びの展開を工夫する。 ※1 ・色の不思議さや、きれいさを感じながら、丁寧に組み立てるようにし、一つの物をじっくり作る事を大切にする。 ※2
	・友だちと一緒に遊びを広げ楽しむ。	《戸外》 ・散歩 ※3 ・陣取り、ケイドロ ※4	・自然の美しさや不思議さなど季節の変化を受け止められるよう五感を使って感じる思いを大切にする。 ※3 ・自分の思いを伝えたり、友だちの話に耳を傾けたり、どうやったら楽しむことができるのか思いを引き出し、時には自分達で決めたルールが守られるように見守る。 ※4
	・一つ一つの事を諦めずに取り組み、やり遂げた満足感を得る。	・縄跳び(長縄とび) ※4、※6 ・鼓笛隊(マーチング) ※6	・色の組み合わせを楽しみ、子どもの新たな発見や気付きを大切にし、作り上げることに期待をもって取り組めるようにする。 ※5 ・友だちとの関わりの中で、励ましたり、出し合った意見を調整したり、子ども同士でまとめ事が出来るよう、仲立ちし、様子を見て見守る。 ※6



★遠足ではお世話様でした。夜の遠足ということもあり、息子はとても大はしゃぎでした。夜に遊ぶことは初めてで、どんな行動をとるのか興味津々でした。中山先生を迎えての遠足は、星空観測や虫の声の合唱は、息子にとって一生忘れられない思い出になったことと思います。このような貴重な体験を続けていって欲しいと思いました。T

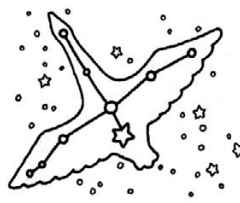
★初めての夜の遠足、不安もありつつ、ワクワクドキドキしながら、当日を迎えました。天気も心配でしたが、遠足中はなんと雨が降らずに、少しでしたが星も見れたので子どもも喜んでいました。でもやはり遠足は昼間の方がいいかなと個人的に思いました。F

★普段夜は歩かないので、最初は心配していましたが行ってみると、虫を探るときなど、暗いところも平気に歩いていました。寝返りでの星のシールをはった時とても喜んでいました。帰りのバスの中でも、自分で作った星座を発表したくて、一生懸命に手をあげていました。またひとつ成長した面がみられました。ありがとうございます。T

★初めの夜の遠足、楽しかったです。子供と一緒にねつころがって星空を見るなんて、なかなか出来ないですよ。とても良かったです。A

★とても貴重な思い出に残る遠足になったと思います。S

★遠足に行つてから、夜空を見るようになりまし。息子が「お母さん、今日は空に雲があるよ」など声がかかります。Y



★初めての遠足が夜の遠足だったので、とても貴重な体験&思い出に残る遠足となりました。息子も楽しかったです。遠足は星よりも虫探しに一生懸命になっていました。T

★限られた時間と空間の中、内容が盛りだくさんで楽しかったです。夜ということと不安もありましたが、「あいのさわたのし」があったという言葉が出たので参加してよかったと思えました。ありがとうございます。H

★同じグループに〇〇君が一緒だったようで、次の日に、〇〇君のフルネームを言ったり、その日からどんだん他の友達の名前も言うようになりまし。おみやげでいただいた、セロハンのボードも勉強になりました。息子はワンワン座という星座を持って帰ってきました。帰りのバスの中でのかくや姫の寸劇やマジックショーに歌など、バスの中までもりだくさんのお楽しみがあったようで、私も行きたかったです。息子もお父ちゃんも本当に楽しそうに遠足の話をしてくれました。ありがとうございます。S

◎ 11月の予定 ◎

日付	園の行事	職員の予定
3(火)	文化の日 休園	キ保連東北部会役員研修
4(水)		職員会議 ↓
5(水)	保護者会役員会	構造化会議
7(土)		キ保連東北部会研修
10(火)		園内研修
11(水)	避難訓練、相農生体験学習	ケース会議
12(木)	ポップコーン、せいあいまつりクラス話し合い (19:00~)	
13(金)	芋掘り	
16(月)	久米本先生指導	
17(火)	感謝訪問	タラントの会
18(水)		県指導監査 マネージャー会議
19(木)	小人さんの音楽会	
20(金)	収穫感謝祭	
23(月)	勤労感謝の日 休園	
24(火)	合同礼拝	めぐみの会
25(水)	久米本先生指導	給食会議
26(木)	ポップコーン	
27(金)	久米本先生指導 シャりん梅訪問	
28(土)	せいあいまつり	
29(日)	アドベント	
30(月)	お弁当の日、お母さん勉強会	

＜芋掘り＞ 13日(金) なみ組、つき組
 なみ組は保育園の畑、つき組は「みどりと花の大地学園」(高見町農園)での芋掘りをします。神様からの恵みに感謝し、収穫したサツマイモは給食でいただく予定です。
 ・準備物：長靴、スモック
 ・つき組はバスで出かけます：8時30分までに登園

＜せいあいまつり＞ 28日(土) 雨天決行/保育園・保護者会共催
 フード・雑貨バザー、遊びのコーナーなど充実しています。ご家族みなさんやお友だち、お誘い合わせでお出てください。
 ※事前の各クラス保護者話し合いを行います。
 12日(木) 午後7時~ 各クラス保育室 対象：全保護者
 都合で出席出来ない方は、クラス担任にお知らせください。

＜長寿荘訪問＞ 12月1日(火) つき組・ほし組
 クリスマスの訪れを知らせます。歌や踊りを披露し、触れ合い遊びをして、入居者の皆さんと楽しいひと時を過ごします。
 ・8時30分まで登園。
 ・園服着用、天候に合わせて防寒具を持たせて下さい。

＜収穫感謝祭＞ 20日(金) 9:30~ 保育園ホール

野菜や果物を持ち寄り、神様が与えて下さる恵みに感謝する礼拝を捧げます。持ち寄った物は、ご近所の方々に持って行き、収穫の喜びを分かち合ったり、給食でいただいたりする予定です。
 ご家庭で収穫したもの、または、お手持ちの野菜や果物がありましたら、一品を当日の朝に持たせて下さるようお願いいたします。

由来
 17世紀初め、イギリスで激しい迫害を受けたピューリタン(清教徒)の人々はオランダに逃れ、そして信仰の自由を求めながら最後に、先住民のインディアンが住んでいるアメリカ新大陸に移ろうとしました。
 1620年9月16日、老朽船「メイフラワー号」に乗って大西洋を渡り、3か月かかりマサチューセッツ州プリマスに上陸しますが厳寒と飢えのため、乗員の半分以上が死にました。春になり、近くに住むインディアンは農耕や狩猟の仕方を教えてくれました。秋になって、十分な収穫を得ることが出来たので、彼らはインディアンを招いて感謝の礼拝を捧げ、食事を共にしました。
 1863年、リンカーン大統領はこの事を記念して、11月第四木曜日を国の祝日としたのが始まりです。

＜心が動く~今月の主題より~
 “子どもは好奇心の塊”、と言われるほど、いつもどんなときも、いろいろなことに対する興味や関心が強いです。
 先日の夜の遠足を経験し、「空」への子どもたちの関心は、ますます深まっているようです。ある日、夕方の早い時間に月が出ていることに気づいた子どもたちが、「月と太陽と一緒に出ているよ」「月が白く見える。どうして?」「あれは木星!」などと、友だちと不思議に思ったことを話していました。
 子どもたちが興味や関心をより広げていくために、様々な機会を提供したり、環境を整えたりすることは大人の大事な役割です。
 保育園では、子どもの興味に寄り添い、空の不思議に関心を向けたり、「やってみよう」と思ったりできるように、保育を展開していきます。

＜アドベントとは?＞
 『アドベント』(待降節)は11月30日に最も近い日曜日で、今年は29日から始まり、4回の日曜日を経て、12月25日の『クリスマス』を迎える心の準備をする期間をいいます。
 4本のろうそくが立てられた“アドベントクランツ”は日曜日の礼拝ごとに1本ずつ灯火を増やして、4本のろうそくにあたりが灯ると『クリスマス』です。
 保育園でも、各クラスにリース、クランツを飾ってそれを囲んで礼拝を守り、イエス様のお誕生を心待ちにします。

・・・ご案内とお知らせ・・・
 ◎11月3日(火/祝日)『とっておきの音楽祭 in 南相馬』に、つき組が出演します。運動会の後、新しい曲に自分達でリズムを考えて、鼓笛の曲にしました。どうぞ応援してください。
 ◎全国的にインフルエンザが流行しています。各自予防のための手洗い・うがいを忘れずに行いましょう。